地域おこし協力隊が行く！ らしい

ふくやま暮らし研究所（ラボ）

FUKUYAMA LIFESTYLE LABORATORY

file 07

神辺町

住まいから地域が豊かになる暮らし

▲のじま家大工店 野島英史さん

今回は、神辺町で伝統工法による家造りに取り組む野島英史さんに、住まいから地域が豊かになる暮らしについて伺いました。

―なぜ「家大工（やだいく）」になったんですか？

大工だった祖父の影響で、幼い頃から大工になりたいと思っていました。修業を始めたのは15歳の時で、市内の工務店で住宅造りに携わっていました。もっと木を自由に扱えるようになりたいと、20歳の時に岐阜県の飛騨高山に宮大工の修業に行きました。10年間修業し、福山に戻ってきました。「家大工」とは家を専門に建てる大工のことで、宮大工として学んだことは、私の家造りにおけるこだわりになっています。

―一番のこだわりは何ですか？

主要な部材に県内産の木材を使い、金具を使わずに木組みで建てているところでしょうか。現代の住宅の効率的な作り方とはほぼ正反対のことをしていると言えるかもしれません。なぜ県産材にこだわるかというと、地元で育った木は、その土地の気候に合っているから。もう一つは、地元の製材所や林業を守りたいという思いがあるからでしょうね。小さい頃から見てきている風景を残したいという気持ちは、誰しも抱いたことがあるのではないでしょうか。

▲ハツリビトの集い
宮大工のハツリ（技）を見学でき、まき割り体験や特産品の販売もあります。
時10月28日(土)・29日(日) 9:00～15:00
所クレセントビーチ
問のじま家大工店（☎962-2297）

―どんな家を造っていきたいですか？

私が建てる家は、何世代も続く家にしたいと思っています。そのためには、丈夫な家であるだけでなく、住む人の意識も大切です。家を大切にすることは、それを残してくれた先人を大切にすることであり、その周りの人や地域を大切にすること。家は、社会の最小単位である家族が暮らす場所。より良い地域づくりを、家造りから支えていきたいです。

―「住まいから地域が豊かになる暮らし」。野島さんのお話から、また一つ福山らしい暮らしのヒントが見えました。ぜひ職人の技を、イベントで体感してみてください。―つづきは市HPに掲載―

問情報発信課（☎928・1135）

福山のこと知ってる？

すっかり秋になり、木々も色付く紅葉の季節がやってきました。

今回は市内の紅葉スポットからの問題です。

問観光課（☎928-1042）

答えは裏表紙のどこかにあるよ

《問題》

春の桜に始まり夏の新緑、秋の紅葉と四季折々の景色が楽しめる山野町の山野峡県立自然公園は、二つの渓谷からなっています。一つは龍頭の滝がある龍頭峡です。では、聖岳や屏風岳があるもう一つの渓谷は、次のうちどれでしょうか。

①四段峡
②猿鳴峡
③藤尾峡
④帝釈峡

Zoo～m up!! 動物園（ずーむあっぷ）

問市立動物園（☎958-3200）

マレーヤマアラシ（哺乳綱・げっ歯目・ヤマアラシ科）

いつも仲良く寄り添ってお昼寝するおじいちゃんおばあちゃんカップル。高齢のため、生野菜を蒸して与えるなど体調管理に気を付けています。

活発に動くところが見られるのは、開園直後か閉園前がオススメです。マレーヤマアラシが皆さんの来園を待っています。

前回写真コンテスト銅賞
「とっても仲良し」倉田香代子さん

ふくフェス！

昨年も好評だった「ふくフェス!」が9月9日にエフピコRiMで開催。各階イベントいっぱいの楽しい1日となりました。（写真・文は市民サポーターの柳田さんが取材しました）

福のまち ぐるり 福山探検

▲▼ストローロケットとグライダーで遊ぶ

SPACE

▲ロボットや宇宙などの講座も

WORLD

▼ペルー・ケニア・台湾などのマーケット

▲ケニアンドラムの演奏

▶西幼稚園の園児たち

▼作品展示

▲◀ミニ白バイにまたがろう！

KIDS

◀▼親子で楽しむ和菓子創作体験

ふくやま未来づくり100人委員会プレス

意見交換会・フィールドワーク Vol.6

8月26日、子育てに関する意見交換会を行いました。日本の子育ての現状と課題や北欧と日本のネウボラについて、地域ぐるみの子育てや三世代交流による福祉のまちづくりの重要性が紹介され、子どもを地域で見守ることの大切さや、子どもの医療費助成の充実が子育てしやすいまちづくりにつながるなどの意見が交わされました。

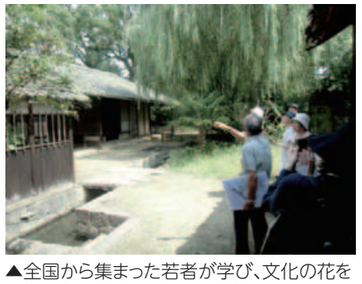
▲市立大学正保教授から、心も体も診るフィンランドのネウボラを学ぶ

▲学校元気大賞（地域一丸部門）を受賞した高美台自治会の宮本会長が三世代サロン活動を紹介

8月27日は、活動の場を会議室からまちへと移し、観光についてのフィールドワークを実施。神辺本陣～廉塾～富谷公園～吉備津神社～明王院～鞆の浦で国宝や史跡などの歴史や文化を学び、後世に引き継ぐ観光資源としての価値を再認識しました。

新たな発見や気づきを今後の話し合いに生かします。

問まちづくり総務課（☎928-1217）



▲全国から集まった若者が学び、文化の花を咲かせた国の特別史跡「廉塾」

▲「本殿の大きさは日本で4番目」と吉備津神社の宮司から説明（国重要文化財）

▲世界でも珍しい、住民の寄付で建てられた明王院の五重塔（本堂とともに国宝）

広報ふくやま　発行日／毎月1日　編集／情報発信課
発行／福山市　〒720-8501 福山市東桜町3番5号
印刷／福山エビス印刷（株）☎954-2200

つながる 備後圏域

福山市を連携中枢都市とする6市2町からなる備後圏域。備後圏域全体で取り組む事業や、各市町のイベントを紹介します。

三原市　尾道市　福山市　府中市
世羅町　神石高原町　笠岡市　井原市

問 情報発信課（☎928-1003）

雑誌「Wink」とコラボ！ 道の駅BINGURU DRIVE Vol.2
スイーツめぐりスタンプラリー

福山・備後の地元誌「Wink」とコラボして、備後圏域内の道の駅と産直市9カ所を巡るスタンプラリーを行います。スタンプラリーに参加して、意外と知られていない道の駅お薦めのスイーツを満喫しませんか。スタンプ台紙は対象の道の駅などで無料配布中です。※詳しくは「びんごライフ」HPに掲載

時12月10日㈰まで　所備後圏域内の道の駅と産直市9カ所　問農林水産課（☎928-1031）

出かけよう GO BINGO

井原市 2017美星空宙ガールズミーティング

美しい美星の星空の下、ファンキー加藤などのアーティストの音楽を聴きながら地元産のスローフードなどのイベントブースを楽しめます。
時10月21日㈯正午～午後8時　所中世夢が原、美星天文台　¥一般5,500円、中学生3,000円、小学生まで無料※チケット購入は各プレイガイド　問同実行委員会（☎0866-87-3113）※詳しくは公式HPに掲載

神石高原町 とよまつふれあいフェスティバル

時10月22日㈰午前9時～　所豊松小学校グラウンド　内豊松名産のトマトの詰め放題、トマト丸かじり選手権、荷車引きレースなど　問同実行委員会事務局（☎0847-84-2226）※詳しくは同町観光協会HPに掲載

● 広報テレビ（4ch）
広島テレビ 毎週水曜日
午後6時55分～7時
※市HPからも見ることができます

● 広報ラジオ（77.7MHz）
レディオBINGO 毎週火曜日 午前10時12分ごろから（10分間）

● ホームページ
http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/

● Facebookページ「何もないとは言わせないプロジェクト」
https://www.facebook.com/fukuyama.city

● Twitter「福山市」
ユーザー名：@cityfukuyama

● メール配信サービス
https://service.sugumail.com/fukuyama-city/

市役所代表 ☎921-2111
広報担当 ☎928-1003 FAX931-2056
✉ jouhou-hasshin@city.fukuyama.hiroshima.jp
HP http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/

● 広報「ふくやま」の記事の内容に関する問い合わせFAX
情報発信課　FAX：９３１-２０５６

●編集室から

●ゴールデンウイークに芽が出た松が、やっと6cmになりました。会えば話せる言葉が増えている甥は、可愛い盛り。まぁ、いつの間に…という成長ぶりに、ただただ驚くばかりです●春に花開き、まち中を彩ったばらが、厳しい夏を乗り越えて秋に再びお目見えです●家族でばら展に行ってもいいし、仕事や家事でゆっくりできない人はちょっと一休みして花壇のばらに目を向けてみると、実りの秋が感じられるかもしれませんね…廣瀬

●人口と世帯数　8月末現在

人　口：470,645人（対前月比－99人）
男：229,022人　女：241,623人
世帯数：206,336世帯（対前月比＋15世帯）

静寂と、うどんが誘う 禅の世界へ。

神勝寺うどん
1,000円
※拝観料が別途必要
営業時間　11:00～14:30
定休日　不定休

神勝寺 禅と庭のミュージアム
沼隈町上山南91
☎988-1111
※公式HPあり。「神勝寺うどん」で検索

うどんは、修行僧のご馳走。

臨済宗の僧堂では、「四九日（しくにち）」と称して４と９のつく日の昼食に湯だめうどんを食します。このうどんは修行僧にとって一番のご馳走。読経と鳴らしもの以外の音は一切ご法度ですが、うどんを食べる時だけは豪快に音を立ててもよいとされています。

神勝寺では、禅宗の修行僧が食している形式をそのまま体験することができます。一般的なうどんの2倍ほどの太さとコシが特徴で、持鉢と雲水箸を体験することで食事のありがたさを感じることができます。

問情報発信課（☎928-1135）

● 表紙の写真：温かくておいしい学校給食

9月から新たに6校で中学校給食を開始し、実施校は35校中15校となりました。みんなと一緒に食べる給食はおいしくて会話が弾んでいました。

※福山のこと知っとる？の答え　②

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。